年間授業計画 新様式例

外国語 科 ^{単位数: 4 単位} 高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 科目 英語コミュニケーション!

教科担当者:

使用教科書: (Power On English Communication I

教科 外国語

の目標: 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

、ここによの学家がレーミューソーンョンにあいて、目的で海面、水況などに応じて通知に活用できる技能を身に付ける。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要 や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して通切に表現したり伝え合ったりすることができる 方を養う。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I の目標:

			領域			領域			領域			領域			- ~		域			T			56
単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	聞	読	話「や」	話[発]	書	評価規準	知	思	態	当時数												
Eessonl Japan's New Tourism	・ 選手が高い、	0	0	0		0	□開てと 一関	0	0	0	5												

1 学								目分の考えを理由や根拠とともに話して 伝えている。 「学びに向かう力、人間性等」海外の人 に関心をもってもらうために、自外の作り 成でいる地域の魅力について、関いたずしただりしたことを活用しながら。 を自分の考えを理由や根拠とともに話して 形・意味・用法を理解している。 (5) 書職は、動詞の現在形・過去形、進行 形・意味・用法を理解している。 ・ 1 を味・用法を理解している。 ・ 1 を味・用法を理解している。 ・ 2 を味・用法を理解している。 ・ 2 を味・用法を理解している。 ・ 3 を味・用法を理解している。 に表は、自分の住んで、過去形、進行 形・意味・用法を理解している。 にも能・自分の相心で、情報のを力がるとを 理は、をしている。 に思考力、判断力、表現力等」 自分のたりがら、 に思考力、判断力、表現力等」 自分のよりを がらしたことを活用しながら、情報いて でいる地域の魅力についない。関心を自分のよえを 性のなりしたことを活用しながら、 に関心をもってもらうために、関いたりいま も分の考えを理由や根拠とともに書いて に同いるをしている。 に関心をもかってもをうために、関いたり、 に関心をもかってもをうために、関いたり、 に関心をもかってもをがら、 に関心をもかってもなりたがら、 に関心をもかってもなりたがら、 に関いたりしたことを活用しながら、 に関いたりしたことを活用しながら、 に関いる地域の魅力に、関いたり、 に関いる地域の魅力に、関いたり、 に関いる地域の魅力に、 に関いる地域のを としている。	0	0	0	8
期	定期考査		0	0			С		0	0		1
	Lesson2 Light from Creatures 【知識及び技能】 現在完了形。現意 東方である。 現地のでは、現地のでは、現意 東方での形。 現在定力形を解していっている。 といっていっている。 といっていっていっている。 といっていっていっていっていっている。 といっていっていっていっている。 といっていっていっていっていっている。 といっていっていっていっている。 といっていっていっている。 といっていっていっている。 といっていっていっていっている。 といっていっていっている。 といって、現まのいっていっている。 といって、現まのいっていっている。 にいっている。 にいっている。 にいっている。 にいっていっている。 にいっている。 (学のしたいこの。 (学のしたい) (学のしたいこの。 (学のしたい)	[題材内容] 生き物が光用される 原研究においる に 一部 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			0	0		①開、蔵」受け身、央の形・意子、大きに、を持ちいていた。ときをそことに提出、アカーの対している。 「別職」でいる。 「別ないない。 「別ないないない。 「というないない。 「というないないない。 「というないないない。 「というないないない。 「というないないない。 「というないないない。 「というないないない。 「というないないないない。 「というないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	0	0	0	8

				知識」受け身、現在完了形、現在完了 維行形を用いた文の形・意味・用法を理 解している。 長能門、光でを書いて、受けの基本的な部間や攻を用いて、情報や自然の名。 生き物について、受けの基本的な部間や攻を用いて、情報や自然の名を理由や根拠とともに書いて伝えを選出や根拠ととしまって、現りでは、限覚に関するために、光ち生とを考えを理由や根を用いながら、自分を考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。 「学びに向かう力、人間性等」情報交換をするために、光ち生とを考えを明らでは、開覧資根拠とともに書いて伝えている。 「学びに向かう力、人間性等」情報交換とより読んだりしたことを考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。 大ちり読んだりた。自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。	0	0	0	7
定期考査			0		0	0		1

2	Lesson3 Routes ti the Top					
2 学期	Lesson5 Bananan paper					
3 学期	Lesson7 No plastic or No future					
	1年時のまとめ					合 計 30